

シーボーグ300MJ-L

道糸入力方法「棚センサーブライト編」

P0 指定入力

指定入力とは当社棚センサーブライトまたはナイロン糸を巻かれるときに、次ページに記載の糸種・号数・巻き糸量の中から選択してセットするだけでデータが入力できる便利な方法です。
(タナセンサーブライト3号400mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

 **やけどに注意!**

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1.道糸をレベルワインドに通してスプールの結んでください。

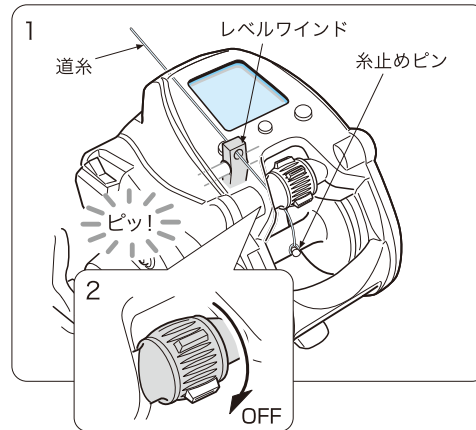
※付属の糸通しピンを使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

※ドラグを締め付けてください。

2.ジョグパワーレバーをOFFまで戻します。

3.リールを通电させ、ジョグパワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。



※接続方法については「電源とのつなぎ方」を参照ください。

※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。

 **注意**

- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

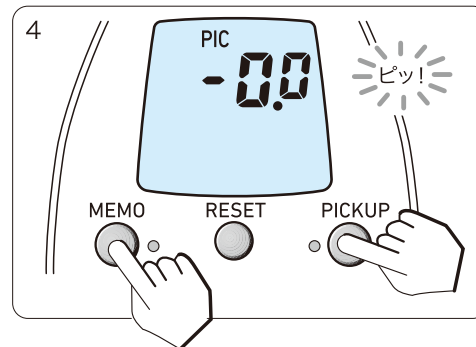
(※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が動き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

4.表示が **-0.0** のときに

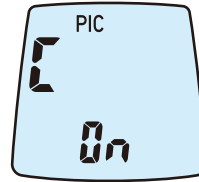
MEMO (底から/棚メモ) スイッチと

PICKUP (チョイ止/巻/シャクリ) スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。

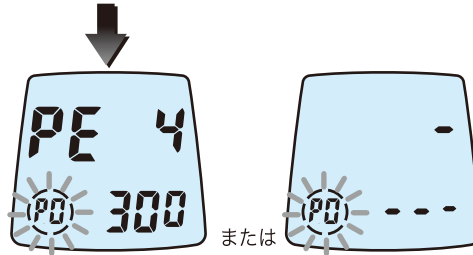


※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けてください。



5.初期設定PE4号ー300mの画面になります。
(**PO** が点滅します。)

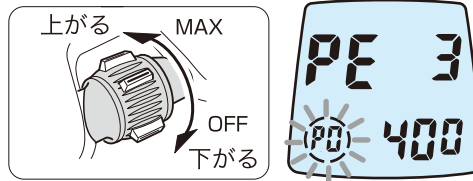
※ここで一旦スイッチを離してください。



6.ジョグパワーレバーで、ご使用になる糸と巻き量の組合せを選択してください。

- ・レバーを前に倒すと数値が上がります。
- ・レバーを元に戻すと数値が下がります。

下表はデータ一覧表を示します。



※図の場合ではPE3号400mのデータがセットされます。

選択可能なデータ一覧表

PE (左上の表示がPEの場合) (m)			ナイロン (左上の表示がLの場合) (m)		
3号	300	400	5号	250	280
4号	300	—	6号	200	—
5号	200	230			

7.ジョグパワーレバーで数値が選択できたら、

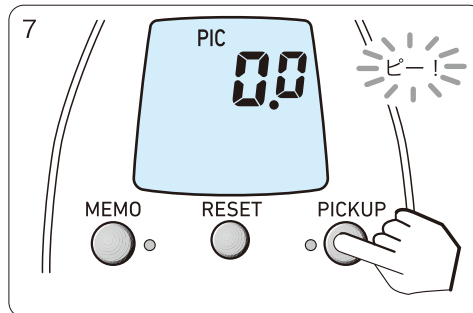
PICKUP (チョイト巻/ジャクリ) スイッチ

を押して完了です。

アラーム音が鳴り、表示 **0.0** の点滅が終われば完了です。

便利

※シーボーク300MJ-Lには、あらかじめ棚センサーブライト4号ー300mのデータが入力されています。棚センサーブライト4号ー300mを巻く場合は、データのインプットは不要です。



道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

P1 糸長入力

リールに巻く糸の長さがわかっている時の便利な方法です。
(PE3号400mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

 **やけどに注意!**

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1. 道糸をレベルwindに通してスプールの結んでください。

※付属の糸通しピンを使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

※ドラグを締め付けてください。

2. ジョグパワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させてください。

4. 表示が **0.0** のときに

MEMO (底から/棚メモ) スイッチと

PICKUP (チョイ止巻/ジャクリ) スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。
※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けてください。

5. 初期設定PE4号300mの画面になります。

(**PO** が点滅します。)

※ここで一旦スイッチを離してください。

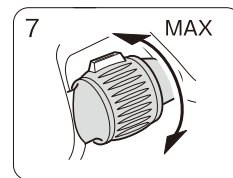
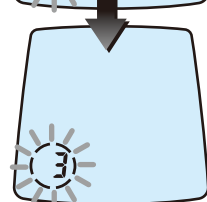
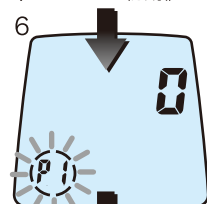
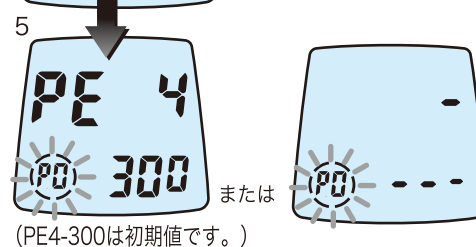
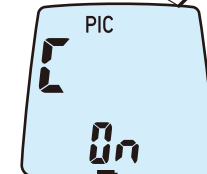
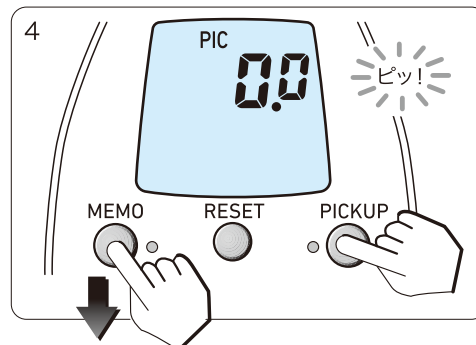
6. **PICKUP** (モード[チョイ止巻/ジャクリ]) スイッチを1回押して糸長入力画面にします。

(**P1** が点滅します)

7. テンションを調整して、ジョグパワーレバーをMAXの位置まで倒し道糸を巻きます。

※安全のため、パワーレンジでスタートします。(変速は可能です。)

※パネル左下の数字が3~4になるようにテンションを調整してください。



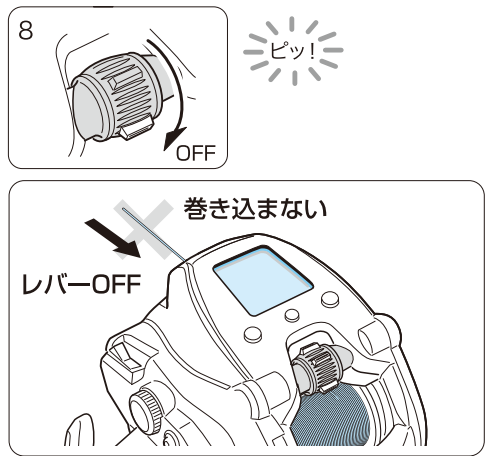


注意

- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

(※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

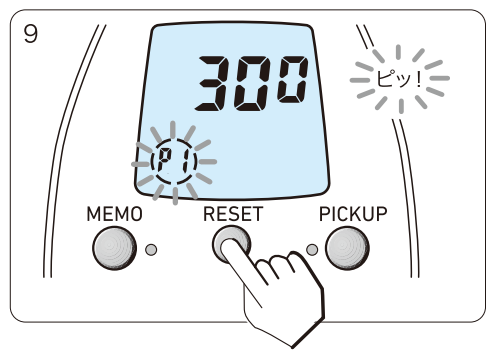
8. 巻き終わったらジョグパワーレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)



注意

- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・この入力方法はPE2号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

9. **RESET(リセット)** スイッチを2秒以上、表示が **300** m になるまで押してください。(300は初期設定値です。)

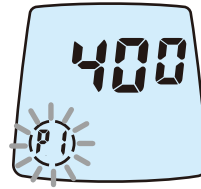


道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

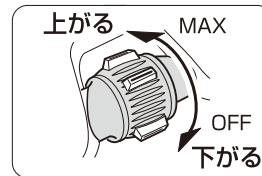
P1 糸長入力

10. ジョグパワーレバーで、道糸の長さをセットします。

(図は、400mにセットした場合です。)
(セットする数値は、10m単位です。)



10

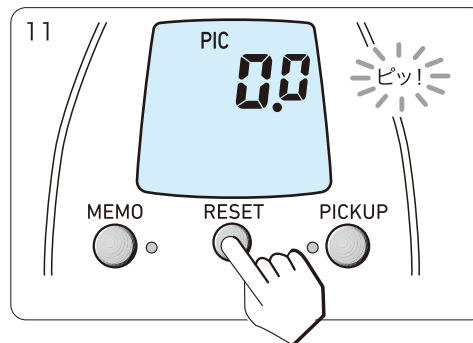


11. **RESET (リセット)** スイッチ

を2秒以上押してください。アラーム音が鳴り、表示 **0.0** の点滅が終われば完了です。

※ **Err** になった場合は、

PICKUP (チョイ止巻シャクリ) スイッチを押して始めから再度入力又は、引出し入力をしてください。



道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

ただし、長さのわかる道糸が100m以上必要です。

 やけどに注意！

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1. 下巻用の糸をレベルワインドに通してスプールに結び、通电させてください。

- ※付属の糸通しピンを使うと簡単に通せます。
- ※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。
- ※ドラグを締め付けてください。

2. 下巻用の糸を巻きます。

- ※ジョグパワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置(手前)に戻してから出力してください。

3. 上糸をしっかり結びます。

4. 表示が **0.0** のときに

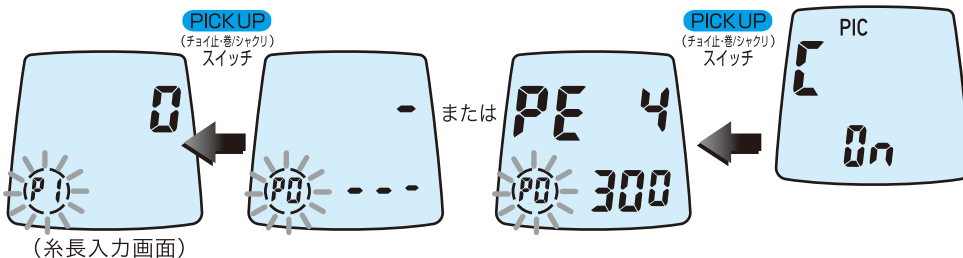
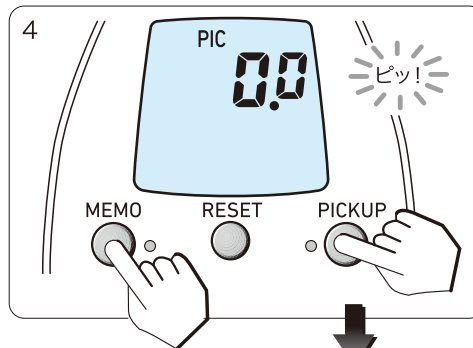
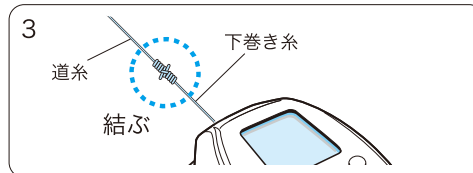
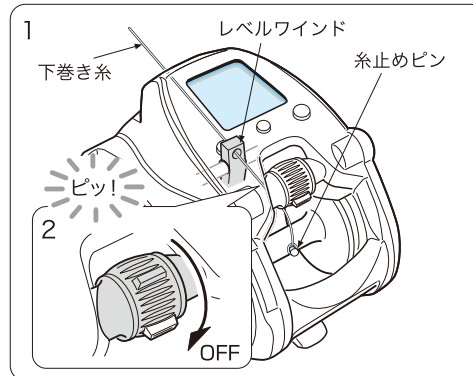
MEMO (底から/棚メモ) スイッチ

PICKUP (チョイ止巻/ジャクリ) スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。

※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になり **P0** が点滅します。

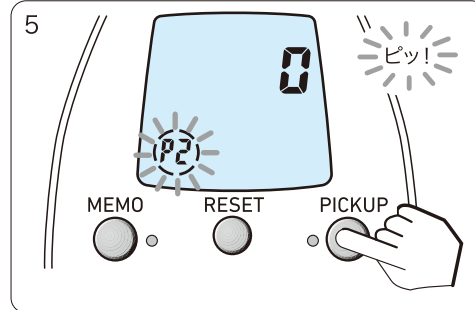
- ※ここで一旦スイッチを離してください。次にもう一度 **PICKUP** (チョイ止巻/ジャクリ) スイッチを押すと **P1** が点滅します。



道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

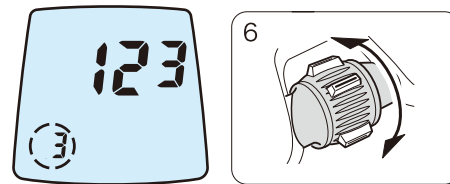
5. 糸長入力画面になったらもう一度 **PICKUP** (チョイ止巻/ジャクリ) スイッチを押して下巻き入力画面にしてください。
P2 が点滅します。



6. テンションをかけて糸色に注意しながら残り100mになるまで道糸を巻いてください。

ジョグパワーレバーを倒すと **P2** (画面左下の数字) がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります。
※安全のためパワーレンジでスタートします。(変速は可能です。)

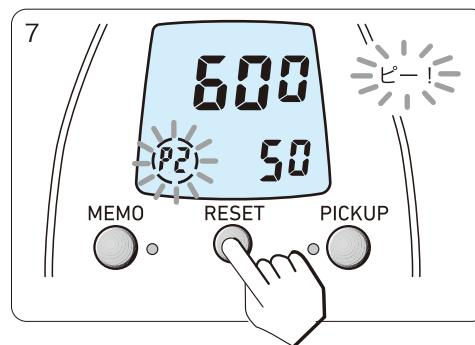
パネル左下の数字が3~4になるようにテンションを調整して巻いてください。



注意

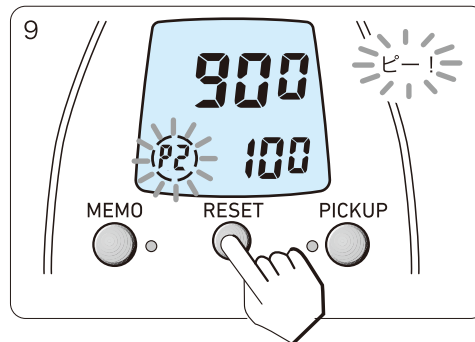
- フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
 - 屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

7. **RESET** (リセット) スイッチを2秒以上押してください。
P2 が点滅し、下のカウンターが **50** になります。
上のカウンターの数値は糸を巻くと増えていきます。



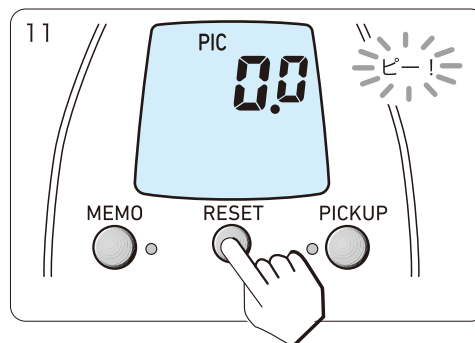
8. テンションをかけて糸色に注意しながら50m道糸を巻いてください。

9. **RESET(リセット)** スイッチ
を2秒以上押してください。
下の数字が **100** になります。



10. テンションをかけて糸色に注意し
ながら残りの50mを巻いてくださ
い。

11. **RESET(リセット)** スイッチ
を2秒以上押して表示 **0.0** の点滅
が終われば完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・PE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE1～2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

- ※ **Err** になった場合は、
PICKUP(チョイ止シャクリ) スイッチ
を押して始めから再度入力又は、引出し
入力をしてください。

道糸入力方法「引出し入力」

P3 引出し入力

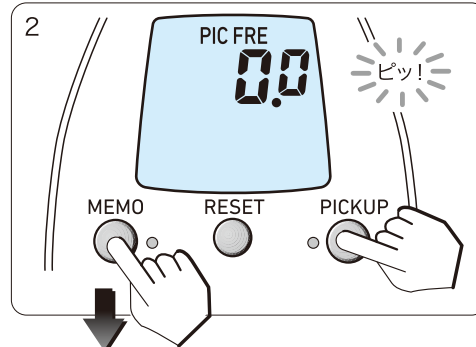
道糸を巻き終わった状態から引き出して再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. 通電させてください。

2. **MEMO** (底から/棚メモ) スイッチ と **PICKUP** (チョイ止巻/シャクリ) スイッチ を同時に6秒以上押し続けてください。

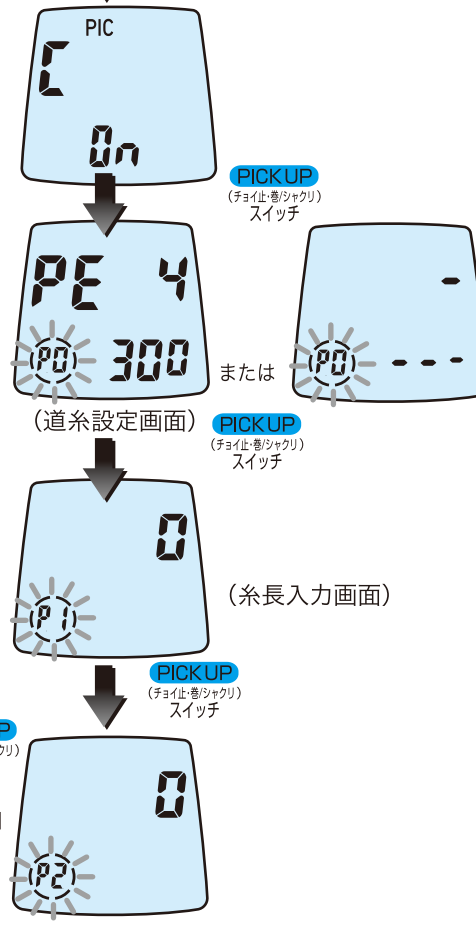
※チョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になり **P0** が点滅します。

※ここで一旦スイッチを離してください。



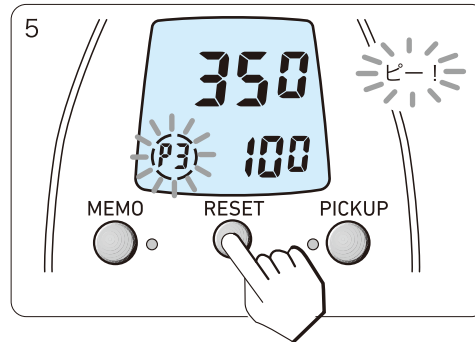
3. さらに **PICKUP** (チョイ止巻/シャクリ) スイッチ を3回押して、引出し入力画面にしてください。

※ **P3** が点滅し、下のカウンターに **50** と表示されます。



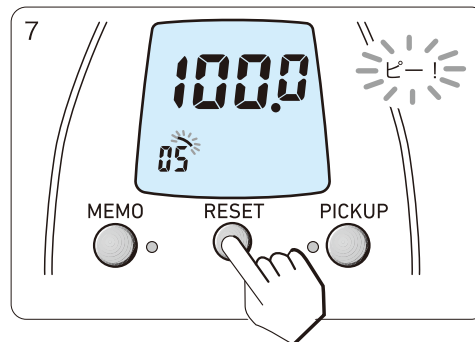
4.糸のマークに注意しながら、50m
引き出します。

5. **RESET(リセット)**スイッチ
を2秒以上押してください。
下の数字が **100** になります。



6.糸のマークに注意しながらさらに
50m引き出してください。

7. **RESET(リセット)**スイッチ
を2秒以上押してください。
上の数字が **100.0** になります。



8.引き出した糸を100m巻き取り完
了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・PE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE1～2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

※ **Err** になった場合は、
PICKUP (チョイ止巻シャクリ) スイッチ
を押して始めから再度入力をしてください。